

平成19年度9月補正予算案の概要

平成19年9月

宮 城 県

予算編成の考え方

平成19年度当初予算は、全国の景気回復傾向に地域間でばらつきがみられる状況の下、構造的な多額の財源不足に対処するため、新・財政再建推進プログラムや事業総点検の取組を踏まえ、徹底した歳入確保対策と歳出抑制対策を基本に編成

歳入では、県債の活用や県有財産の売却促進など、できる限りの収入確保に努めることとしているが、現時点では、根幹となる県税収入の推移を見極める必要があるなど、今後とも歳入総額の確保と歳出抑制のための積極的な取組が不可欠

こうしたことから、今回の補正予算では、中小企業支援のファンドを組成するための貸付金のほか、台風4号の被災に伴う災害対策、仙台北部中核都市整備など、当面急を要する施策を厳選して予算化

予算規模

(単位：百万円，%)

	当初予算	9月補正予算	9月現計予算	9月現計予算対前年度増減率
一般会計	798,482	2,926	801,408	1.9
特別会計	197,594	4,307	201,901	0.4
準公営企業会計	24,559	629	25,188	7.1
公営企業会計	57,810	0	57,810	7.7
計	1,078,445	7,861	1,086,306	1.6

四捨五入のため積み上げと計の一致しない箇所がある

主な事業

(単位：千円，[]は債務負担行為)

1 富県宮城の実現 ～ 県内総生産10兆円への挑戦～

育成・誘致による県内製造業の集積促進

- (新規)・知的クラスター創成推進費 10,100
先進予防型健康社会創成クラスター構想を推進するための運営費助成

観光資源、知的資産を活用した商業・サービス産業の強化

- ・広域観光開発促進費 4,700 (当初：8,542)
東北7県や民間企業等の参加により設立された東北観光推進機構への負担金
- ・松島公園駐車場管理費 18,278 (当初：18,800)
松島公園浪打浜広場の有料駐車場化に向けた施設整備等

産業競争力の強化に向けた条件整備

- (新規)・みやぎクラフトマン21事業費 12,760
工業高校等で産業界と連携した現場実習等を行い、ものづくり産業を支える人材を育成
- (新規)・地域中小企業応援ファンド融資事業費(特別会計) 4,306,596
財団法人みやぎ産業振興機構が行う中小企業の経営革新等支援ファンド組成への貸付金
- (新規)・小口事業資金貸付金 [13,000]
零細企業への小口融資で県信用保証協会が行う債務保証に伴う損失補償
- (新規)・仙台北部中核都市(奥田地区)工業用地整備費 25,189 [127,000]
住宅用地から工業用地への一部用途変更等
- (新規)・仙台北部中核都市(奥田地区)住宅用地整備費 [75,000]
宮城県住宅供給公社が行う住宅団地開発事業の資金借入に係る損失補償

2 安心と活力に満ちた地域社会づくり

子どもを生き育てやすい環境づくり

- (新規)・助産師確保対策費 5,000
県北地域の産科医不足に対処するため、助産師を対象とした臨床実務研修等を実施

生涯現役で安心して暮らせる社会の構築

- (新規)・石綿健康被害救済推進費 16,330
被害者への医療費助成等を行うために国・地方公共団体・事業者で造成する基金への拠出

3 人と自然が調和した美しく安全な県土づくり

経済・社会の持続的発展と環境保全の両立

- (新規)・農業用水水源地域保全対策費 28,000
農業用水の安定的な供給に向けた水源林保全調査等
- (新規)・未整備森林緊急公的整備導入モデル事業費 50,000
放置森林、荒廃森林等を対象とした除間伐等モデル事業の実施

宮城県沖地震など大規模災害による被害を最小限にする県土づくり

- (新規)・橋りょう長寿命化修繕計画策定費 14,000
長寿命化を目指した効果的な予防修繕等を行うための計画策定

異常気象災害対策

- ・自然公園施設等災害復旧費 40,200
栗駒国立公園白糸の滝吊り橋、県民の森基幹遊歩道の被災施設復旧工事
- ・河川施設災害対策費 30,000
村田町荒川親水公園の被災施設解体撤去工事
- ・災害関連緊急地すべり対策費 643,500
白石市小原地区等の地すべり対策工事

【参考】既決予算で実施する主な異常気象災害対策

- ・農林水産施設災害復旧費 211,247 (既決：1,084,463)
農業用水路決壊、農道法面崩壊等
- ・土木施設災害復旧費 642,500 (既決：2,011,000)
河川法面崩壊等